

---

# 男里川水系 河川整備基本方針（素案）について

---

# 前回審議会での委員指摘事項

	本文 頁	箇所	指摘事項	内容
			対応方針	内容
①	3	1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 (1) 流域及び河川の概要	指摘事項	河口部における種の記述が不足しているのではないか。
			対応方針	修文（河口部の種を追記）
②	6	(2) 河川の総合的な利用と保全に関する基本方針 ウ. 河川環境の整備と保全	指摘事項	河口部も含めた表現とすること。 干潟の維持に関する記述を追加すること。
			対応方針	修文（河口部の記述及び山林、干潟の保全に関する記述を追加）
③	8	(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項	指摘事項	「必要に応じて拡幅等を行い」の後には「安全性の確保に努めます」との文言が入るべきではないか。
			対応方針	修文（記載内容を修正）
④	基本方針規模に対する整備について		指摘事項	男里川の河口には干潟環境がある。基本方針規模に対する整備では河口部の掘削等が必要になるのか。
			対応方針	男里川については、現況で1/200の外力に対しても浸水被害が生じないため、基本方針規模に対して河口部の掘削等改修は不要である。
⑤	基本高水のピーク流量の算定方法及び算定結果について		指摘事項	合理式による基本高水のピーク流量と氾濫解析に用いている（合成合理式による）ピーク流量の算定結果を確認すること。
			対応方針	金熊寺川合流後の流量について整理し、基本高水のピーク流量の設定値の妥当性を確認。 <ul style="list-style-type: none"> <li>合理式：846.1m<sup>3</sup>/s</li> <li>合成合理式：820.9m<sup>3</sup>/s</li> </ul>

# 前回審議会での委員指摘事項と対応方針

指摘事項	対応
① 河口部における種の記述が不足しているのではないか。 本文p.3 1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 (1) 流域及び河川の概要	①修文 河口部の種を追記
----- 修正前 (H28 第3回審議会資料)	----- 修正後 (案)
また、男里川河口には大阪府内唯一の天然干潟が形成されており、野鳥や海の生物など貴重な生物の生息地となっています。	また、男里川河口には大阪府内唯一の天然干潟が形成されており、野鳥や海の生物など貴重な生物の生息地となっています。 <u>河口中洲のヨシ原では、フトヘナタリやクリイロカワザンショウ、ハクセンシオマネキ、ユビアカベンケイガニ、アシハラガニ等が多く見られます。鳥類では、ズグロカモメ、イカルチドリ、メダイチドリ、ソリハシギ、キアシシギ、トウネン、キョウジョシギなどが見られます。ほかにも全国的にも希少とされるイボウミナ、ヘナタリ、ウモレベンケイガニなども断続的に確認されています。</u>

指摘事項	対応
② 河口部も含めた表現とすること。 干潟の維持に関する記述を追加すること。 本文p.6 (2) 河川の総合的な利用と保全に関する基本方針 ウ. 河川環境の整備と保全	②修文 河口部の記述及び山林、干潟の保全に関する記述を追加
----- 修正前 (H28 第3回審議会資料)	----- 修正後 (案)
特に、良好な自然環境が残る中・上流部では、流域市の農地の保全施策等と連携し、 <u>自然河岸や河畔林の保全に努め、動植物の生息・生育環境を保全・創出していきます。</u>	特に、良好な自然環境が残る中・上流部や河口部では、流域市の農地の保全施策等と連携し、 <u>自然河岸、河畔林、山林、干潟等の保全に努め、動植物の生息・生育環境を保全・創出していきます。</u>

# 前回審議会での委員指摘事項と対応方針

指摘事項	対応
<p>③ 「必要に応じて拡幅等を行い」の後には「安全性の確保に努めます」との文言が入るべきではないか。 本文p.8 (3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項</p>	<p>③修文 記載内容を修正</p>
修正前 (H28 第3回審議会資料)	修正後 (案)
<p>主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は、次表の通りとします。また、河川工事の実施にあたり、河道横断形については現況の形状を尊重した上で必要に応じて拡幅等を行い、適正な河川環境の保全に配慮したものとします。</p>	<p>主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は、次表の通りとします。また、河川工事の実施にあたり、河道横断形については現況の形状を尊重した上で必要に応じて拡幅等を行い、安全性の確保に努めます。その際には適正な河川環境の保全に配慮したものとします。</p>

指摘事項	対応
<p>④ 基本方針規模に対する整備について 男里川の河口には干潟環境がある。基本方針規模に対する整備では河口部の掘削等が必要になるのか。</p>	<p>男里川については、現況で1/200の外力に対しても浸水被害が生じないため、基本方針規模に対して河口部の掘削等改修は不要である。</p>

指摘事項	対応
<p>⑤ 基本高水のピーク流量の算定方法及び算定結果について 合理式による基本高水のピーク流量と氾濫解析に用いている(合成合理式による)ピーク流量の算定結果を確認すること。</p>	<p>金熊寺川合流後の流量について整理し、基本高水のピーク流量の設定値の妥当性を確認。  <ul style="list-style-type: none"> <li>合理式：846.1m<sup>3</sup>/s</li> <li>合成合理式：820.9m<sup>3</sup>/s</li> </ul> </p>

(指摘事項④)

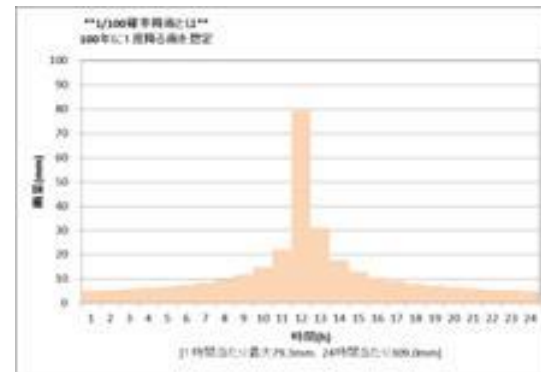
男里川の河口には干潟環境がある。基本方針規模に対する整備では河口部の掘削等が必要になるのか。

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

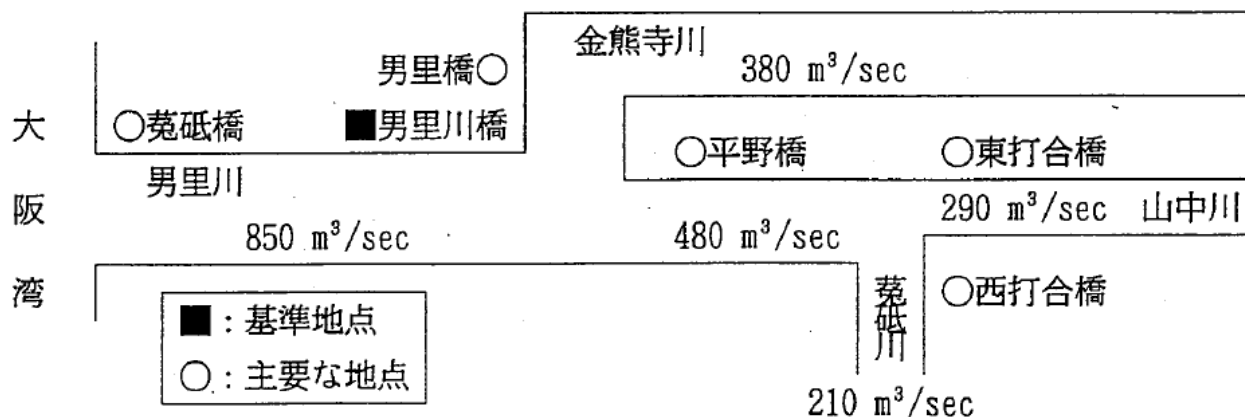
基本高水は100年に一度程度発生する規模の降雨で発生する洪水を対象とし、そのピーク流量は基準点「男里川橋」において850m<sup>3</sup>/sとし、これを河道へ配分します。

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

男里川における計画高水流量は、基準点「男里川橋」において850m<sup>3</sup>/sとします。



1/100年確率降雨 (79.3ミリ/hr、309.0ミリ/24hr)

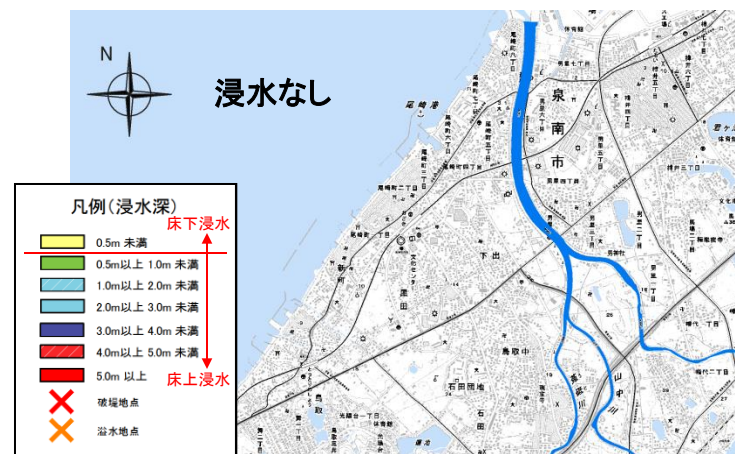


## 男里川の現況評価 (H27.3.2 治水専門部会資料より)

時間雨量53.8ミリ (1/10年)



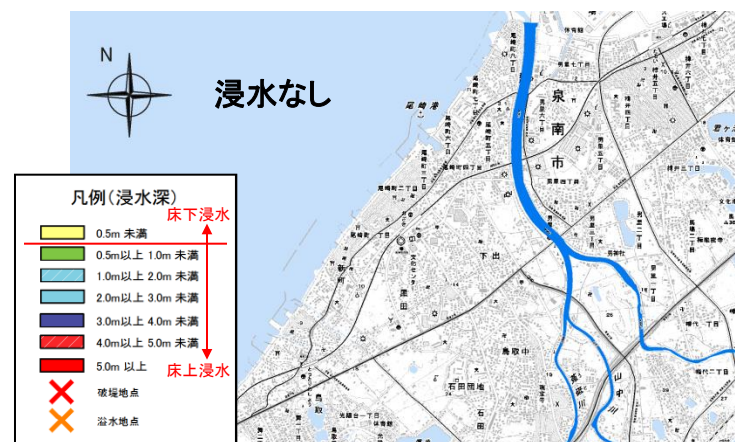
時間雨量79.3ミリ (1/100年)



時間雨量66.1ミリ (1/30年)

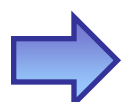


時間雨量86.9ミリ (1/200年)



(対応④)

男里川については、現況で1/200の外力に対しても浸水被害が生じないため、基本方針規模に対して河口部の掘削等改修は不要である。



(指摘事項⑤)

合理式による基本高水のピーク流量と氾濫解析に用いている(合成合理式による)ピーク流量の算定結果を確認すること。

合理式による男里川水系の流出計算結果(1/100年)

地点名	流域面積 (k m <sup>2</sup> )		洪水到達 時間 (分)	降雨強度 r(mm/hr)	流出係数 (f)	流出量 Q (m <sup>3</sup> /s)	計画高水 流量 (m <sup>3</sup> /s)
	単 独	累 加 (A)					
菟砥川下流端	12.51	12.51	57	82	0.712	202.9	210
山中川下流端	19.54	19.54	72	74.5	0.709	286.7	290
菟砥川・山中川合流後	—	32.05	72	74.5	0.710	470.9	480
金熊寺川合流前	0.58	32.63	74	73.5	0.712	474.4	
金熊寺川下流端	25.82	25.82	73	74	0.705	374.1	380
金熊寺川合流後	—	58.45	74	73.5	0.709	846.1	850
男里川河口	0.21	58.66	83	69.5	0.710	804.1	

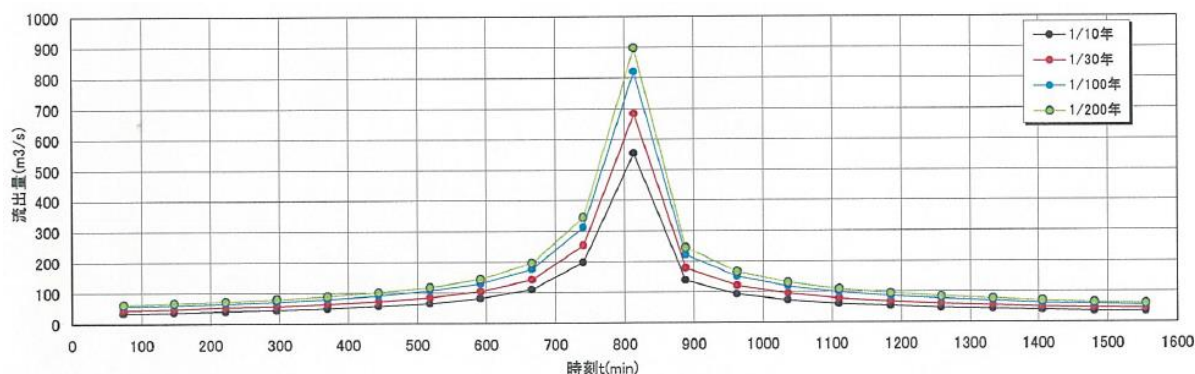
流出係数は、流域における将来の土地利用面積比により算定。

・宅地:f=0.80、耕地:f=0.70、山地:f=0.70、池:f=1.00



## 合成合理式による流出計算結果(金熊寺川合流後地点)

順序 n	時刻 t (min)	中央集中型(mm/hr)				時刻 t (min)	流出量(m <sup>3</sup> /s)			
		1/10年	1/30年	1/100年	1/200年		1/10年	1/30年	1/100年	1/200年
1	74	3.03	3.95	4.92	5.46	74	34.9	45.4	56.6	62.8
2	148	3.26	4.24	5.29	5.86	148	37.6	48.9	60.9	67.5
3	222	3.54	4.60	5.73	6.35	222	40.7	53.0	66.0	73.1
4	296	3.88	5.05	6.28	6.96	296	44.7	58.1	72.3	80.2
5	370	4.33	5.62	6.99	7.75	370	49.8	64.7	80.5	89.2
6	444	4.92	6.38	7.94	8.80	444	56.6	73.5	91.4	101.2
7	518	5.77	7.47	9.29	10.29	518	66.4	86.0	106.9	118.5
8	592	7.11	9.19	11.41	12.64	592	81.9	105.8	131.4	145.5
9	666	9.65	12.44	15.41	17.06	666	111.1	143.2	177.4	196.4
10	740	17.24	22.05	27.18	30.04	740	198.5	253.9	312.9	345.8
11	814	48.10	59.33	71.32	78.04	814	553.7	683.0	820.9	898.4
12	888	12.13	15.59	19.28	21.33	888	139.6	179.4	221.9	245.6
13	962	8.14	10.51	13.04	14.44	962	93.7	121.0	150.1	166.2
14	1036	6.35	8.22	10.21	11.32	1036	73.1	94.7	117.6	130.3
15	1110	5.30	6.87	8.55	9.47	1110	61.0	79.1	98.4	109.0
16	1184	4.60	5.97	7.43	8.23	1184	52.9	68.7	85.5	94.7
17	1258	4.09	5.31	6.61	7.33	1258	47.1	61.2	76.1	84.4
18	1332	3.70	4.81	5.99	6.64	1332	42.6	55.4	69.0	76.5
19	1406	3.39	4.41	5.50	6.10	1406	39.1	50.8	63.3	70.2
20	1480	3.14	4.09	5.10	5.65	1480	36.2	47.1	58.7	65.0
21	1554	2.93	3.82	4.76	5.28	1554	33.8	44.0	54.8	60.8



### 計画流量の表示方法

流量(m <sup>3</sup> /s)	最小単位(m <sup>3</sup> /s)
100未満	5
100以上～500未満	10
500以上～1,000未満	50
1,000以上	100

「中小河川計画の手引き(案)H11.9」より抜粋

(対応⑤)

金熊寺川合流後の流量について整理し、基本高水のピーク流量の設定値の妥当性を確認。(合理式:846.1m<sup>3</sup>/s、合成合理式:820.9m<sup>3</sup>/s)